

Q16 道徳科で、GIGA 端末はどのように活用するとよいのでしょうか。



「導入」「展開」「終末」のどの場面でも、活用することができます。ICT の活用にあたっては、考え、議論する道徳への転換を図る中で、個別最適な学びや協働的な学びがより効果的に行われることを意識できるように活用の場面を考えていきましょう。



GIGA 端末を使うことで、道徳の学習がより深まる場면을、「導入」「展開」「終末」に分けて、いくつか紹介します。

## 導入

道徳的価値について、より問題意識をもちやすくなる使い方をします。



### 画像・映像の提示

写真や動画などを提示することで、視覚的な理解につながります。より経験を想起させやすくしたり、自分との関わりを見つけやすくしたりすることができます。

音声や効果音をつかうことも考えられます。

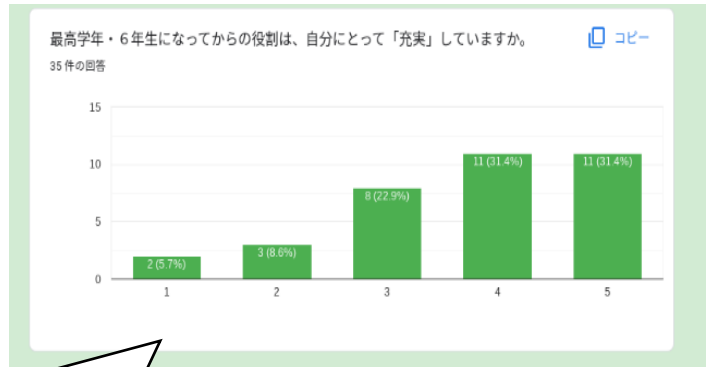


これまでは画像などをテレビに映したり印刷して見せたりすることが多かったですが、GIGA 端末では一人一人に配付することができます。

自分のペースで画像などと向き合うことができたり、映像の時は気になった場面で一時停止をしたりすることもできます。画像の細かい部分まで見ることも、大いにメリットがあります。

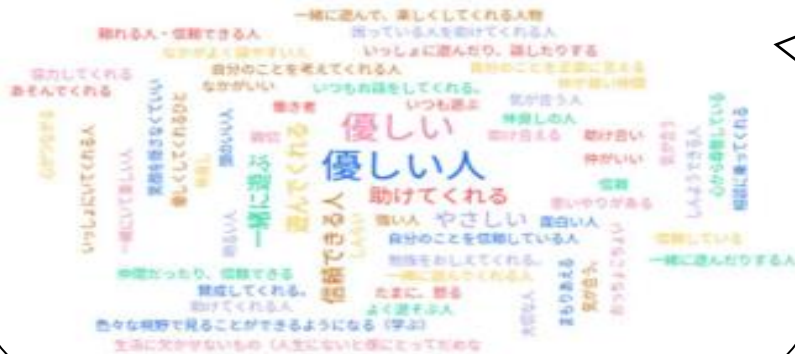
## アンケート

学級の実態を把握して、問題意識をもたせるために Google フォーム (Google 社提供) などを活用してアンケートをすることができます。質問の内容によって、名前を記入させないことも考えられます。



アンケートの結果を、すぐに子どもと共有することができますし、事前にアンケートを取りその結果を学習計画に生かすこともできます。

## 友達って、どんな人？



アンケートの結果をリアルタイムで集計できるアプリケーションの使用も考えられます。

多く出てきた言葉が大きく示され、視覚的に分かりやすく、課題設定に生かすことができます。

## 展開

- より自分自身との関わりで考えられる使い方をします。
- より多面的・多角的に考えられるようにする使い方をします。
- 自己の生き方についての考えを、より深められるようにする使い方をします。



## 場面絵・画像（動画）教材の提示

教材から気付かせたいことが場面絵や画像にある場合、スライドを用いて紙芝居のように提示する方法があります。

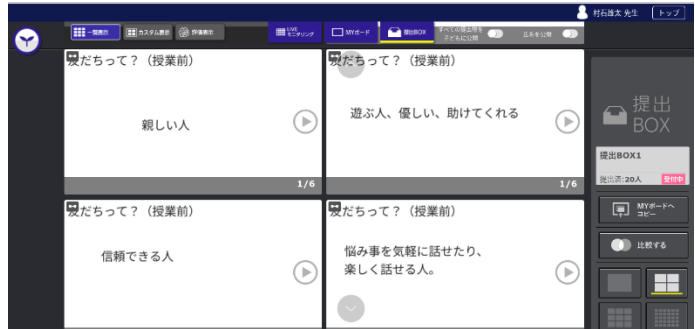
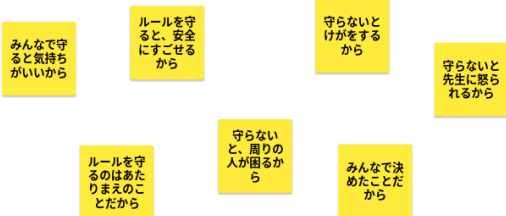
一人一人にデータを配付すると、個々で画像を拡大したり、注目する画像を選んだりすることができます。



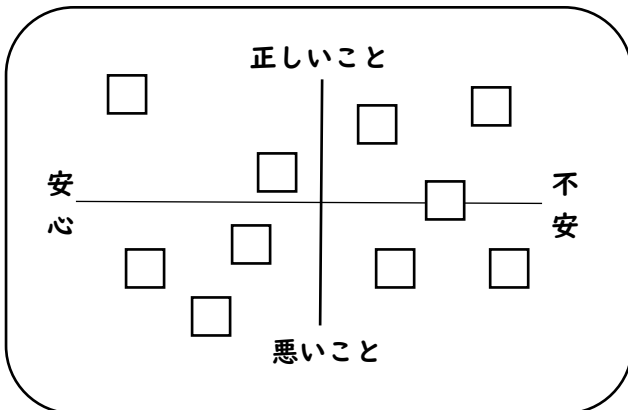
## デジタルホワイトボードによる共同編集

Google Jamboard (Google 社提供) やオクリンク (ベネッセ社提供) などを活用することで、より多くの友達の意見を知ることができます。友達の意見の一端に触れ、自分の意見をもちやすくできるようにするため、この内容を見ながら話し合いを深めることも考えられます。

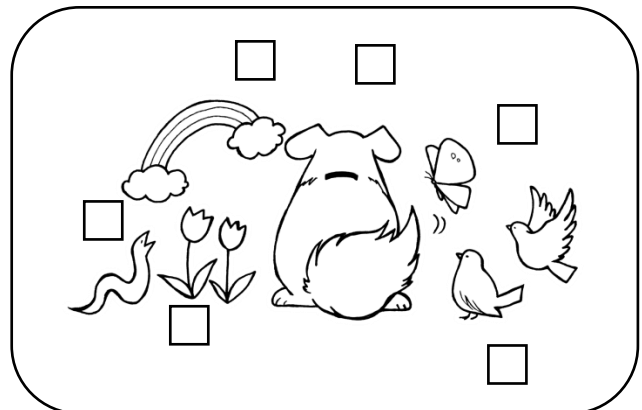
どうしてルールを守っているのですか。



◎デジタルホワイトボードでは、他にもこのような使い方が考えられます。



<座標軸に自分の立場を書き入れる方法>



<場面絵上に意見を書き入れる方法>

3人の中で、だれの意見に一番近いですか。

Aさん	Bさん	Cさん
<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	

<立場を決めて、自分の考えを書く方法>

このような使い方を通して、より多面的・多角的に考えることができます。

名前を書く場合は、教師が意図的な指名をしやすくなります。名前を書かない場合は、子どもが本音で書きやすくなります。



使用する場合は、1つのスライドの人数を絞るなどの工夫が考えられます。また共同編集をするため、使用する際のルールを子どもと共有をしておけるとよいでしょう。(他の人の付箋は触らない、など)

## インターネットのサイト検索

教科書にあるQRコードを読み取り、朗読の音声を聞くことや、参考となるサイトから自分で調べることができます。

教材によっては、方言や外国語が使われています。その場合、朗読の音声を活用はとても有効です。また、サイト検索をして自分で調べると、より多面的・多角的に考えることができます。例えば、国際理解・国際親善の学習では、より多くの国の情報を調べることができます。



展開の場面に限らず、授業前後で教材に関することを自分で調べることができます。調べた内容をもとに、学習を深めることもできるでしょう。

## 終末

道徳的価値への自己実現の意欲を、より高める使い方をします。

### 生活の様子の写真や外部講師の言葉の提示

教師の説話に合わせて写真を提示したり、あらかじめ動画撮影したゲストティーチャーの話を読み流したり、スライドを提示したりするなど活用し、理解を深めることができます。



導入や展開と同じく、一人一人に画像や文書を配付することが可能です。保護者からの手紙の際には一人一人に違う文書を配ったり、複数のデータから自分で選んだりすることができます。



授業において、GIGA 端末を使うことが目的ではありません。「道徳科としての授業をよりよくする」ための手段として活用できるように意識していきましょう。